

2026 年 7 月 15 日

各 位

会 社 名 株式会社ANAPホールディングス
代 表 者 名 代表取締役社長 川合 林太郎
(コード：3189・東証スタンダード)
問 合 せ 先 経理部長 泉谷 英治
電 話 番 号 03-5772-2717

特別損失（事業再編損）の計上に関するお知らせ

当社は、2026年8月期第3四半期連結会計期間（2026年3月1日～2026年5月31日）において、アパレル事業、エステティックサロン事業及びリラックスサロン事業における不採算店舗の閉鎖に伴う事業再編損を計上しましたので、以下のとおりお知らせいたします。なお、2026年1月14日に別途 110,210千円の事業再編損（株式会社TLCへの前渡金の処理）を計上する開示をしております。

1. 特別損失（事業再編損）の内容

当社は、2026年8月期第3四半期連結会計期間において、アパレル事業における不採算店舗2店舗の閉鎖、エステティックサロン事業における不採算店舗7店舗の閉鎖及びリラックスサロン事業における5店舗すべての閉鎖を決定し、その店舗閉鎖に伴う違約金、原状回復工事費用及び廃棄物処理費用等を事業再編損として計上することを決定いたしました。当第3四半期連結会計期間において、168,862千円を事業再編損として特別損失に計上いたします。

当該不採算店舗の閉鎖により、当社完全子会社である株式会社ANAP（代表取締役 若月舞子）は不採算店舗2店舗を閉鎖し、今後は19店舗での事業展開となり、当社完全子会社である株式会社AEL（代表取締役 根岸良直）のエステティックサロン事業は、7店舗を閉鎖し5店舗での事業展開となり、また当社完全子会社である株式会社ARF（代表取締役 根岸良直）はすべての店舗を閉鎖し、今後は新たな事業の展開を図ってまいります。

株式会社AELにおける今後のエステティックサロン事業は施術内容を旧来の痩身エステ施術ではなく、最新鋭の機器を導入し、より効率的、効果的な痩身及び美容施術への転換を図り、より高収益なエステティックサロン事業の実現を図っていく計画を検討しております。

また、株式会社ARFは5店舗すべての閉鎖に伴い、今後は素材を生かしたエステ、リラクゼーション、ヘルスケア関連商品等の開発及び販売事業に転換し、事業の拡大を図り、収益の改善を図ってまいります。取扱い商品についてはすでにOEMメーカーとは開発、販売に関する合意は得ており、市場及び販路の開拓を進め収益の改善を図っていく計画をすすめております。

2. 業績に与える影響

本件の計上による業績への影響につきましては、本日公表の「2026年8月期第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）」に反映しております。

以上